

# 小さいいのちをみつめて

～モンシロチョウを育てる～

## 目標・ねらい

モンシロチョウを卵から育てることによって、小さな虫にも大切ないのちがあり、いのちは、一度絶えると失われてしまうものであることに気づかせる。

生き物に興味を持つ3年生の時期に、理科で学習するアオムシを観察させることにより、育てる喜び、生きていることの喜びを感じさせる。

生き物の「生と死」を間近にすることによって、自分も生きているということを感じさせ、自分や友だちを大切にしようという気持ちを育てる。

教育課程上の位置づけ  
理科

## 事前指導・経緯

### 理科「モンシロチョウを育てよう」

キャベツを育てる。

\* 4月に苗を購入し、温度を上げて、成長を助ける。児童にモンシロチョウの学習をすることを伝えておく。



卵やアオムシを採取する。



アオムシを育てる。



育てたモンシロチョウを放す。



### 他教科との関連 道徳

「ひきがえるとろば」

・自然の素晴らしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にしようとする気持ちを育てる。

「わたしのいのち」

・モンシロチョウや色々な生き物から、自分のいのちに振り返って、いのちの大切さを考える。

・自分や友だちがお互いを思いやり、助け合って生きていることを考えさせる。

## 実施内容

(理科)

- ・アオムシの観察 ・キャベツの取り替え、糞の除去などアオムシの世話を毎日行う。
- ・アオムシコマユバチの存在を教え、チョウになる前に死んでしまうアオムシもいることを知らせる。
- ・新鮮な葉を与えないとアオムシは、死んでしまったり小さい蛹になってしまったりすることがあることに気づかせる。
- ・蛹の観察・蛹になっても死んでいないこと、気温が低いとなかなか羽化しないことを知らせる。
- ・蛹からチョウへ チョウを観察し、みんなで外へ放してやる。
- ・キャベツの葉を観察し、チョウの卵を見つける。

(道徳)

「ひきがえるとろば」

- ・生き物をかわいがった経験や自然を大切にしようとした経験を話し合う。
- ・資料「ひきがえるとろば」を読みアドルフの心の変容を中心に話し合う。
- ・自然や動植物を大切にしようとする心情を押さえる。

「わたしのいのち」

- ・自分のいのち、友だちのいのちについて話し合う。

## 事後指導

わたしのいのち

「いのちを大切にするというのは、どのようなことか。」話し合う。

保護者へのお知らせ

いのちを大切にするという学習をしました。(学年だよりに掲載)

「いのちを大切にするとってどんなこと？」と子どもたちに投げかけてみると、

- ・自殺をしない。・危ないことをしない。・意地悪をしない
- ・自分や友だちを傷つけない。・ふざけて、けがをしない。・きちんと食事をする。

というようなことができてきました。ご家庭でも子どもたちや家族が、かけがえのない存在であるという気持ちを話してみたいかがでしょうか。

## 取組の評価

観察記録や話し合いなどでいのちの大切さを考える(感じとる)ことができた。

今までもおもしろ半分にはさわったり、殺したりしていた虫でもいのちがあることに気づき、むやみにいたずらしないようになった。

わたしのいのち・・・自分のいのちを大切にすることは、自分を傷つけない、自分の体や心も大切にしていくと共に、周囲の友だちも傷つけないことに気づき、前向きに生活していこうという気持ちを育んだ。

理科の学習では、その後もオクラやホウセンカの種取りを行う。種取りをして来年の3年生にプレゼントし、種もいのちがあり、続いていくことを確認できた。